## さいたま 日本共産党 No.952 2022.3.6 市議団 ニュース

#### 日本共産党さいたま市議会議員団 本共産党 TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165 http://www.icp-saitama.ip/

発

5 とりうみ敏行 松村 としお 久保 みき 金子 あきよ 神田よしゆき とば めぐみ たけこし 連

# 子どもの権利条約にもとづいた条例をさいたま市に



2月9日、2月議会本会議でたけこし連市

議が代表質問をおこない、市に対して「子ど

たけこし市議は、これまで日本政府が5度

に渡り「国連子どもの権利委員会 | から「高

度に競争主義的な公教育が子どもたちに過度

なプレッシャーをかけている | との是正勧告

を受けていることを紹介し、このことが子ど

もの自己肯定感の低下などの「あらたな人権

侵害」を生んでいるとの認識から、新自由主

義的な教育の是正を求めました。答弁に立っ

た細田眞由美教育長は「新しい人権侵害には

もの権利条例しの制定を求めました。

### 2月議会代表質問

示しました。

さらにたけこし市議は、2008年の第3回 国連子どもの権利条約審査にみずからが参加 し、当時の日本の子どもの代表として「自身 が競争教育のなかで自分のことが嫌いになっ た」とスピーチした経験を紹介し、子どもの 権利条約にもとづいた教育行政実現のため に、市として子どもの権利条例を制定するよ う市長に求めました。

たけこし 子どもの権利条約を生かした子ど もの権利条例制定のために、市長のリーダーシップが必要だ。

**市長** 子どもの権利条例の制定の必要性について、議員の思い入れと意見は十分理解したつもりだ。今後、検討していきたい。

たけこし市議は「自身の経験を議場で話す のは勇気が必要だったが、教育長や市長から 前向きな答弁を得られたので、今後も実現に 向けて努力したい」と話しました。

#### 議案外質問 総合政策

# 新型コロナ 融資制度をひろげて

2月15日、神田 よしゆき市議は2022 年度の新型コロナ感 染症にともなう融資 制度の改善について 質問しました。



**商工観光部長** 本市では令和2年2月から

新型コロナ対応の緊急融資制度を開始した。その後、市内中小企業の資金繰りを支援するため市独自の無利子・無担保・無保証料の臨時資金融資を実施。令和2年11月には融資限度額の引き上げ、利率の引き下げなどをおこなった。令和3年度には、借り換えができる融資制度を創設し、今年1月の時点で、合計3015件、442億9570万円を融資している。

**神田** 令和4年度の緊急融資がどのようになるか。また改善点は。

**商工観光部長** 昨年度同様、条件を緩和した 緊急融資制度をはじめ各種融資制度を実 施するとともに、伴走支援型特別資金融資 の申請限度額の引き上げも実施する予定。

# 2月議会市民生活

# ゼロカーボン化本気のとりくみを

2月15日、市民生活委員会に2050年二酸化炭素排出実質ゼロの実現をめざす「ゼロカーボンシティ推進戦略(素案)」が報告され、とばめぐみ市議が質疑をおこないました。

無償で太陽光発電を設置できる PPA (Power Purchase Agreement:電力購入契約)サービスや、地産地消のエネルギー、農地での太陽光利用をスキーム(構想)とし、2030年までに公共施設のゼロカーボン化、2050年までにゼロカーボンシティをめざすロードマップ(計画表)が示されました。とば市議は、公共施設への太陽光発電・ソーラーシステム設置を積極的に進めるなど、今で

きることを真剣にとりくむよう求めましたが、市は「国の支援を最大限活用するため、方針を待っている」と答弁。また、計画が2045年くらいまでゆるやかに進み、最後の5年間で一気に引き上げるものになっていることについて、市は「将来はもっと技術革新が進むため、そこに期待している」と説明しました。

とば市議は「目標が低すぎる。実用化のめ ども立っていない新技術に頼る無責任な姿勢 は政府と同じ。本市はもっと本気でとりくむ べき」と求めました。

#### 一定の蓋然性があると感じており、現在は新 自由主義的教育の転換点である」との見解を

#### 議案外質問(2月15日)

#### 総合政策

# 就農者の相談体制を ワンストップで

久保みき市議は、農業行政について質問し ました。

**久保** 就農者のメンタル疾患や自殺者が増え ていると聞いている。さいたま市の就農者 の相談先は、問題によって担当課が違い、 不便である。さまざまな農業の問題を相談 できるようなワンストップの相談体制を構



築すべきではな (1)

市「こころの 健康センター といっしょにで きるような体制

づくりを、今後していきたい。

久保 農業機械の調達の費用に係る補助制度 は限度額 100 万円で高額な農業機械の調 達には不十分である。リース制度を構築す るべきではないか。

市 就農者に向けたリース制度の構築とい うのは確かに大切。農機具メーカーと話し 合いをおこなっている。

久保 大阪府箕面市では独白で公社を設置 し、ワンストップの相談体制、学校給食に 農家の作物を直接使うなど積極的に農業 支援をおこなっている。さいたま市も独自 で公社を設置すべきではないか。

全国の公社の約半分ぐらいが、採算が 成り立っていないと聞いている。市として は、農政部門にあらたな係を置くなどのか たちで充実を図ることが有効だと考える。

#### まちづくり

## 振動・騒音トラブル 解決を急げ

とりうみ敏行市議 は「道路占用」して の公共・民間の工事 にともなう振動・騒 音トラブルについ て、解決を急ぐよう 市に求めました。



とりうみ 工事後の

埋め戻しの基準はあるのか。

**市** さいたま市道路復旧基準に基づき竣工届

け、工事写真などで確認している。必要が あれば現地確認している。

とりうみそれでも市民からの苦情はある。 どれだけ迅速に対応しているのか。

市 公共・民間に関わらず、現地確認と同時 に「瑕疵担保期間 | であれば占用業者に指 示している。

とりうみ特に民間の工事の場合は解決が長 引くことが多い。瑕疵担保責任の期間は。

市 舗装の本復旧後2年間となっている。

とりうみ市議は、「市民のライフライン整 備を目的とする工事は進めなければならない が、住民が直接業者と交渉することはあって はならない。すみやかに市が対応することが 住民の安心につながる」と強調し、市として の対応を求めました。

#### 保健福祉

# 生活保護申請 提出書類の改善を



松村としお市議は 生活保護申請にあた り、必要以上に書類 が多く記入も大変、 という声が寄せられ ていることから改善 を求めました。

名前や住所など各

種書類の共通部分の簡素化を求めたのに対 し、「申請様式の工夫を検討したい」と答弁

しました。収入があったときなどに生活保護 費を法に基づき返還しなければなりません が、「その同意書は申請時に必要か」を確認 したのに対し、「必要な書類ではない。申請 時に同意書を求めている区役所があれば指導 したい」と答弁。また申請者から「記入書類 が多く、なにを提出、同意したかわからない との声が寄せられていることを紹介し、改善 を求めたのに対し、「申請者の手元に残るべ きと考える。研究したい」と答弁しました。 全体として改善の方向が示されました。

松村市議は児童発達支援センターひまわり 学園の通所日数増なども質問。看護師配置の 不足が明らかになり、「保護者の負担軽減は 大事。看護師の増昌を含めた運営体制の整備 を関係部局と協議したい」と答弁しました。

#### あなたの身近な議員です



















たけこし連

とりうみ敏行 松村としお 久保 みき 金子あきよ 神田よしゆき とばめぐみ